

北栄町食生活改善推進員連絡協議会総会

本日は、総会の開催まことにおめでとうございます。

コロナ禍で開催も難しいところではありましたが、対策をしっかりとされての開催、ご招待いただき感謝申し上げます。

また日頃は、鎌田会長さんをはじめ、会員の皆様には、町民の食生活改善の推進のため、尽力いただき感謝申し上げます。

またこの度は、第3次健康ほくえい計画の策定にあたり、協議会の方からも推進委員として参加いただき、「健康寿命の延伸をめざす」を基本方針に、特に健全な食生活の定着の部分でご意見をいただいたところです。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症の影響で活動も計画通りにはいかなかったと思いますし、みなさんにお世話になっておりました「すいか・ながいも健康マラソン」は、令和4年度もオンラインの開催となってしまいました。

現在、会員数は122人と聞いておりますが、全国あるいは鳥取県のそれは、自治体では多い方だと感じました。どの団体もそうですが、会員数は減少傾向であります。そのような状況でも、継続した取り組みができるよう工夫されていると思います。

ある雑誌にこんな記事がありました。日本がWHO(世界保健機構)に加盟した1951年の日本人の平均寿命は、男性で60.8歳、女性で64.9歳でしたが、2021年の統計では、男女の平均寿命が85歳で世界一の長寿国となったようです。70年の間に20年以上も長くなりました。長くなった理由に、食生活の改善や医療技術の進歩などがあげられます。ここでも食生活の重要性が認識されております。

今年度は、推進員の養成講座が計画されています。ぜひ、多くの方に参加していただきたいと思います。

町としましても、協議会と連携した取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

令和4年4月9日
北栄町長 手嶋俊樹